

# たんぽぽ通信 No.109

発行日：2004年5月14日 住所：福田町中島138  
発行者：たんぽぽ共同作業所 TEL：0538-58-1541



## 平成16年度より B型になりました。

利用者定員は20名に増え、スタッフは常勤2名、非常勤2名の体制となります。今後とも皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 所長

退任の  
ご挨拶



この度、3月31日を持ちまして退任しました。在職中は公私にわたり、一方ならぬご厚情に預かり、心より厚く御礼申し上げます。

利用者の皆さんにおかれましても、一日も早く社会復帰ができることを心よりお祈り申し上げます。

近藤 平次郎

### 新所長

着任の  
ご挨拶



4月1日から近藤所長の後任として着任しました黒田道正です。

近藤先輩の手ほどきを受けながら、権田・小池・佐々木指導員をはじめ、通所者の皆さんに励まされつつ勤務しております。前所長同様、ご指導とご協力をお願いし、着任のご挨拶といたします。

黒田 道正

### メンバーミーティングで話し合ったこと (9月～3月)

1. 見学者の受け入れについて→たくさんの方が来て、作業している所をジロジロ見られるのは嫌な感じがする。一緒に作業し、交流をするなら良い。
2. 出張販売について→年数回の市町村のイベントでの販売は参加する。毎月の販売はメンバーの参加者が確保しにくいのでしばらく休む。
3. バレーボール大会について→今年は合同チームではなく、たんぽぽチームとして参加し、1勝を目指してがんばる。楽しくやって、また県大会にいけるといいなあ。
4. 送迎について→原則として自分で通うこととし、送迎はしない。暴風雨のときや体調不良のときはスタッフに相談してくれれば、柔軟に対応する。
5. 喫煙について→喫煙室か屋外で吸う。雨風の当たらない場所に机と椅子を用意する。



## 精神医療の緊急相談は

### 精神科救急情報センター (054-253-9905) へ

県立こころの医療センターで24時間、精神保健福祉士が相談に応じ、必要な情報を提供します。休日・夜間に適切な医療が必要な場合は対応する医療機関の情報を提供します。

(平成16年度から夜間救急対応医療機関が増えました。)

## 精神保健福祉士の卵がやってきた (静岡医療科学専門学校より2名、2003年9/29, 30)

- 他の施設と比べると、スタッフをはじめとしてメンバーの方々も優しく接してくれました。前期の一ヶ月間の実習は、これで最後となりますが、たんぼぼで実習を終えることができたのは幸運でした。スタッフの方も述べていましたが、精神障害者に対する世間の偏見は強固なものがあり、精神障害者の施設の設置には猛烈な反対運動が引き起こされるようです。精神障害者の犯罪がマスコミによってセンセーショナルに報道されることに原因があると思われませんが、実際には、健常者の犯罪率の方が高いかもしれません。実は、私自身、実習を行なう前は、そのような偏見がありました。今回いくつかの施設で実習を行い、そのような偏見をだいぶ取り除くことができました。



微力ではありますが、今後は、精神障害者と健常者が共に暮らしていける社会を形成していけるように、一般市民への啓蒙に尽力していきたいです。(三島 昌)

- 最初は緊張していましたが、メンバーさんや職員さんに何かと気遣っていただき、充実した2日間となりました。ボカシ作りは初めての経験で興味深かったです。ドーナツやコロケ作りにも挑戦しました。普段あまり料理をしない私ですが、皆で料理するのは楽しいし、皆で食べるのもいいものです。室内での作業も、ほのぼのとした雰囲気がいいな、と思いました。皆さんには分からないことなど教えていただき、色々なお話ができ、良い思い出となりました。もう少し期間があれば、もっと皆さんと仲良くなれたと思うし、今回お会いできなかったメンバーさんともお話できたと思うので、名残惜しい気持ちもありますが、ここで学んだ事を生かすためにも、これからケースワーカーになることを目指して勉強に励みたいと思います。

(鷹野 明日香)